

ディスクロージャー
新興市場銘柄
2017年度 優良企業



SAJ 日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

フロイント産業株式会社

2018年2月期 第2四半期決算説明会



(証券コード 6312)

2017年10月13日

目次

I.	2018年2月期第2四半期決算概況	P2
II.	中計の進捗及び市場環境	P14
III.	2018年2月期の業績・配当予想	P21
IV.	フロイント産業グループ 二次電池市場向け製品概要	P25
	<参考資料> <Fact Sheet>	P33 別紙

I .2018年2月期 第2四半期の決算概況

決算状況

- 単体：前期末受注残の消化、高収益案件の前倒しにより増収・増益
- F-VECTOR：販管費増を吸収できず営業赤字
- F・ターボ：増収・増益

(単位:百万円)

	2018/2期	2017/2期	2018/2期		前年同期比増減	
	予想	実績	実績	年度進捗率	金額	%
売上高	21,000	8,762	9,789	+46.6%	+1,026	+11.7
営業利益	2,100	687	1,074	+51.1%	+387	+56.4
経常利益	2,100	708	1,091	+52.0%	+382	+54.0
当期純利益	1,400	306	734	+52.4%	+428	+139.7
一株純利益(円)	81.19	17.77	42.59	+52.5%	+24.82	+139.7
設備投資	650	318	161	+24.8%	△157	△49.4
減価償却費	360	155	171	+47.5%	+16	+10.3
研究開発費	550	285	425	+77.3%	+140	+49.1

機械部門：概況

- 上期受注予定のTABREXは下期に期ずれ。
- 国内医薬は、ユーザー投資計画が大幅な調整期。
- 産機向けは、LiB関連等、引合い案件のミックスに変化。

(単位:百万円)

	2018/2期 予想	2017/2期 上期		2018/2期 上期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
受注高	-	8,406	+24.9%	5,984	△28.8%
受注残高	-	9,765	+12.6%	7,465	△23.6%
売上高	15,410	5,697	+14.1%	7,171	+25.9%
医薬品関連	-	4,559	+0.5%	6,132	+34.5%
産業関連	-	1,138	+149.7%	1,039	△8.7%
営業利益	-	567	+273.0%	868	+53.1%
為替(円/ドル: +は円安)	110.0	111.7	△8.6円/ドル	111.4	△0.3円/ドル

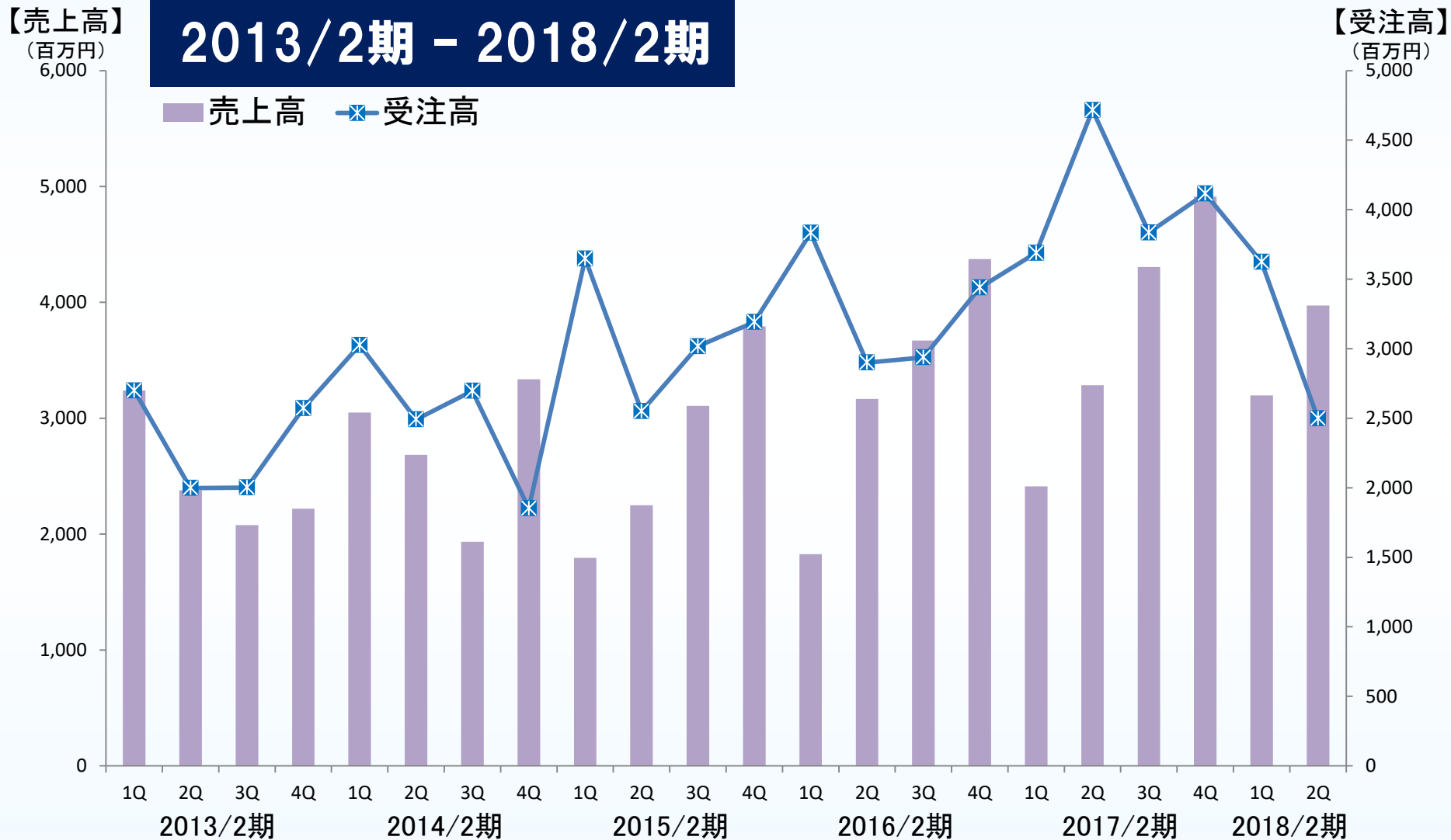
機械部門:グループ動向

- 単体は前期末受注残の消化で増収・増益。
- F-VECTORは前年比増収であるが、販管費増加を吸収できず営業赤字。
- 錠剤印刷装置(TABREX.Rev)の販促受注・活動(ユーザーテスト)を展開中。

(単位:百万円)

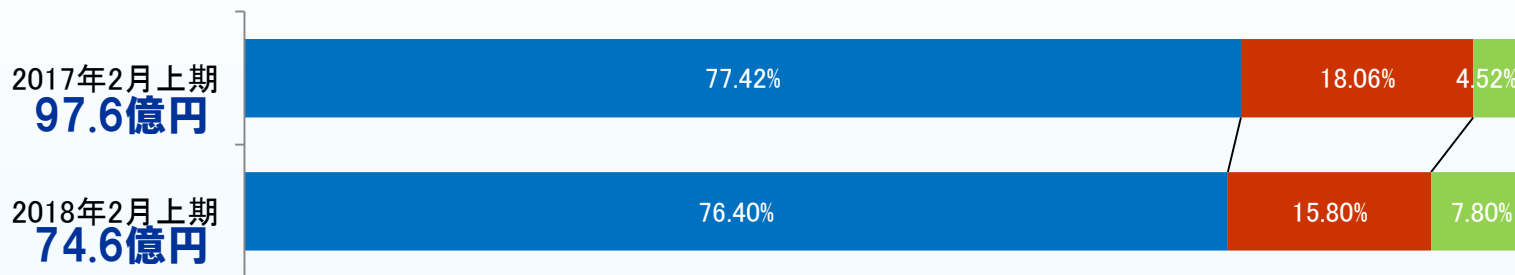
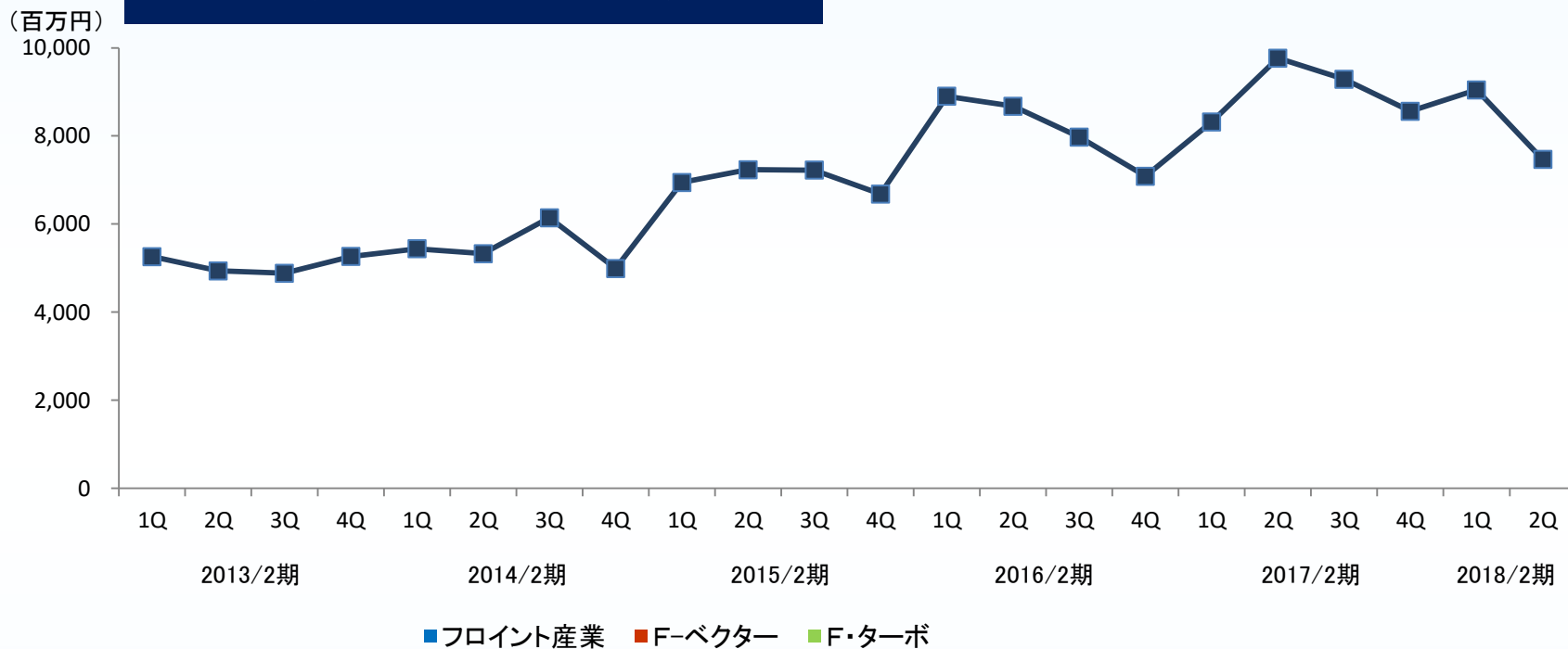
	2018/2期 予想	2017/2期 上期		2018/2期 上期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
売上高	15,410	5,697	+14.1%	7,171	+25.9%
単体	-	3,990	+13.1%	4,775	+19.7%
FREUND・VECTOR社	-	1,253	+1.0%	1,884	+50.4%
フロイント・ターボ社	-	706	+77.2%	783	+11.0%
営業利益		567	+273.0%	868	+53.0
【主要子会社】					
FREUND・VECTOR社	-	△14	-	△42	-
フロイント・ターボ社	-	43	-	66	+52.8%
【地域別売上高】					
日本	-	4,195	+23.7%	4,559	+8.7%
北米・南米	-	1,104	+36.8%	1,119	+1.4%
欧州・アフリカ	-	263	△19.8%	1,018	+286.3%
中東・アジア・大洋州	-	134	△71.2%	473	+251.8%

【機械部門】 受注高の推移



【機械部門】 受注残高の推移

2013/2期 - 2018/2期



化成品部門：概況

- GE薬向け医薬添加剤が増加。新規食品は大幅減少(計画に織り込み済み)。
- プロダクトミックス改善で減収・増益。
- 食品品質保持剤は、計画のとおりに進捗。

(単位:百万円)

	2018/2期 予想	2017/2期 上期		2018/2期 上期	
	金額	金額	前同比	金額	前同比
売上高	5,590	3,065	+13.4%	2,617	△14.6%
医薬品添加剤	-	1,150	+15.7%	1,280	+11.3%
食品品質保持剤	-	927	△3.0%	980	+5.8%
新規食品	-	987	+31.0%	356	△63.9%
(輸出売上高)※1	-	51	△1.9%	67	+31.7%
営業利益	-	357	+63.0%	420	+17.9%

※1 仕向地:インド・韓国・台湾

【化成品部門】 動向

セグメント利益は、プロダクトミックスの改善で増益

【売上高】

(百万円)

2,000
1,800
1,600
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

医薬品添加剤

食品品質保持剤

新規食品

営業利益

1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2014/2期 2015/2期 2016/2期 2017/2期 2018/2期

【営業利益】

(百万円)

300
250
200
150
100
50
0

要約損益計算書

(単位:百万円)

	2017/上期		2018/上期		前年同期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	%
売上高	8,762	100.0	9,789	100.0	+1,026	+11.7
売上原価	5,900	67.3	6,317	64.5	+416	+7.1
売上総利益	2,862	32.7	3,471	35.5	+609	+21.3
販管費	2,175	24.8	2,397	24.5	+222	+10.2
営業利益	687	7.8	1,074	11.0	+387	+56.4
営業外損益	21	0.2	17	0.2	△4	△20.9
経常利益	708	8.1	1,091	11.2	+382	+54.0
特別損益	△230	-	△1	-	+228	-
税引前利益	478	5.5	1,089	11.1	+610	+127.6
純利益	306	3.5	734	7.5	+428	+139.7

営業外損益

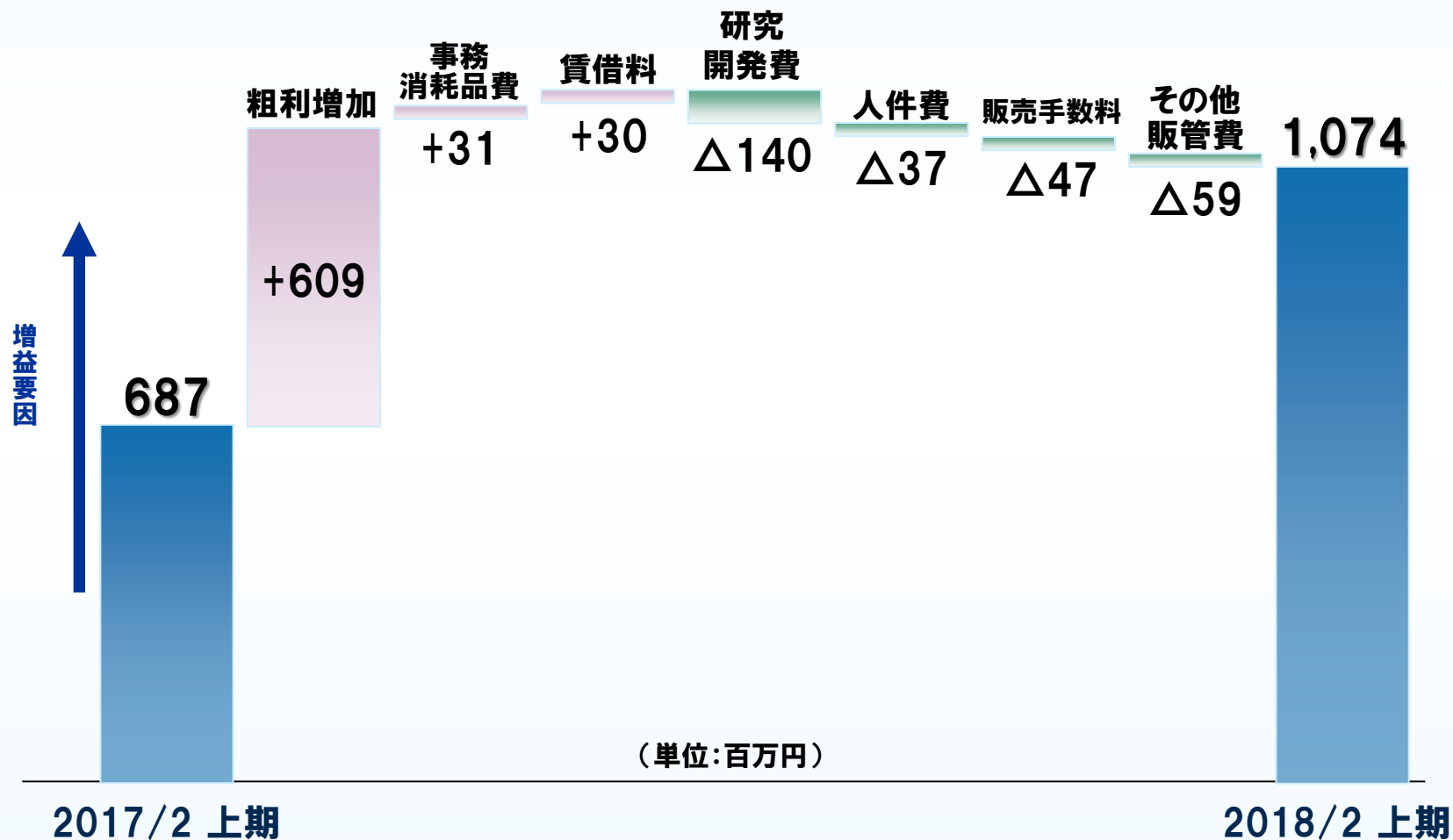
- ・営業外収益 → 24
- ・営業外費用 → 7

特別損益

- ・固定資産売却損
→ △1

営業利益増減分析

- 増収効果、機械高収益案件の寄与、化成品セールスマックス改善で増収・増益。



要約貸借対照表

(単位:百万円)

	2017/通期	2018/上期	増減額
流動資産	14,938	15,012	+74
現金及び預金	6,982	6,000	△982
売上債権 ※1	4,403	5,028	+624
棚卸資産	2,765	3,344	+579
固定資産	4,162	4,109	△53
有形固定資産	3,234	3,219	△15
無形固定資産	55	32	△23
投資その他資産	872	857	△15
資産合計	19,101	19,122	+21
流動負債	6,592	6,256	△336
仕入債務 ※1	3,058	3,289	+231
前受金	1,831	1,707	△124
固定負債	323	333	+9
退職給付に係る負債	201	207	+6
負債合計	6,916	6,589	△326
純資産合計	12,185	12,532	+346

棚卸資産	
+579百万円	
・商品・製品	△57
・仕掛品	+570
・原材料・貯蔵品	+66

有形固定資産	
・建物及び構築物(純額) △44	

無形固定資産	
・減価償却費 △23	

※1 電子記録債権債務含む

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2017/上期	2018/上期
営業キャッシュ・フロー	1,480	△375
税引前利益	478	1,089
減価償却費	155	171
売上債権の増減額(△は増加)	626	△632
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,326	△602
前受金の増減額(△は減少)	1,281	△113
仕入債務の増減額(△は減少)	774	306
法人税等の支払額	△94	△460
投資キャッシュ・フロー	△268	△224
有形固定資産の取得による支出	△342	△228
財務キャッシュ・フロー	△247	△368
リース債務の返済による支出	△31	△24
配当金の支払額	△215	△343
現金及び現金同等物 増減額	858	△982
現金及び現金同等物 期末残高	4,900	6,000

II. 中計の進捗及び市場環境

第7次中期経営計画 基本戦略と経営目標

基本戦略

顧客の真のニーズに技術力を持って応え、
持続的に利益成長をする経営構造の実現を目指す

特別な価値創造

完全顧客視点

ネットワーキング

経営目標

売上高 300億円

営業利益 30億円

営業利益率 10%

(2022年2月期)

ROE 8%以上

(2022年2月期)

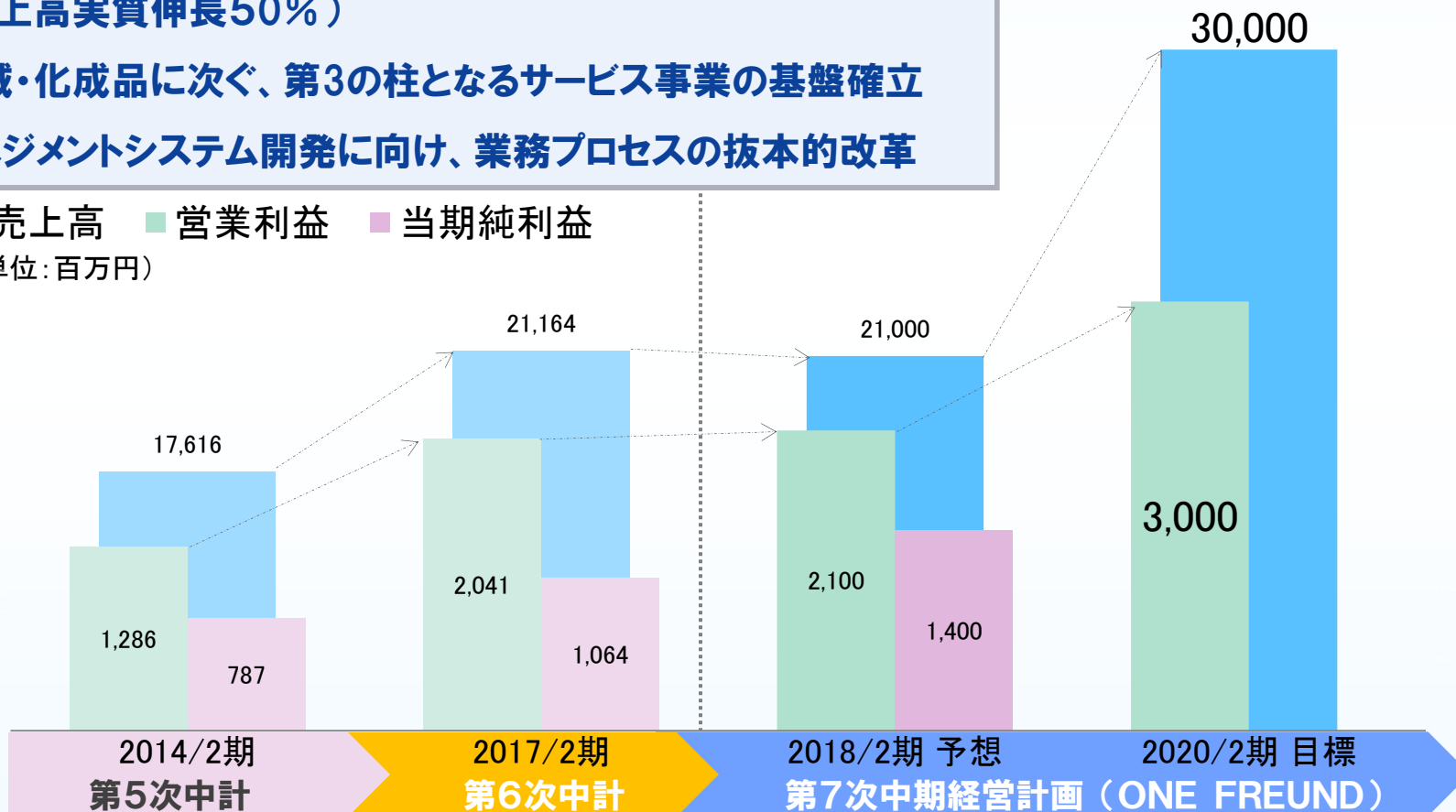
- 機械・化成品事業のさらなる収益力向上
(営業利益10%超水準へ)
- 既存製品に並ぶ将来の事業規模を見据えた、
新規製品の開発(売上高実質伸長50%)
- 機械・化成品に次ぐ、第3の柱となる
サービス事業の基盤確立
- マネジメントシステム開発に向け、
業務プロセスの抜本的改革

2020年2月期(第7次中計)目標

- 機械・化成品事業のさらなる収益力向上
(営業利益10%超水準へ)
- 既存製品に並ぶ将来の事業規模を見据えた、新規製品の開発
(売上高実質伸長50%)
- 機械・化成品に次ぐ、第3の柱となるサービス事業の基盤確立
- マネジメントシステム開発に向け、業務プロセスの抜本的改革

- 売上高 300億円
- 営業利益 30億円
- 営業利益率 10%
- ROE 8%以上

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 当期純利益
(単位:百万円)



【機械部門】 進捗状況

- 錠剤印刷機の拡販。
- 戦略的新製品の投入。
- 海外マーケットの深耕。
- 当社の持つ製剤・粉体技術を他分野に応用展開。

医薬品関係

- 錠剤印刷機 (TABREX Rev.) の拡販 ○
- インド、中国でのビジネス拡大 ○
- 連続生産装置 (GF) の商品化実現 △
- オペレーティングビジネス等の提案 △
- PLM事業のビジネスモデルの構築と事業化 △

産業関連

- リチウム電池業界向け装置分野に進出 △
- 新素材開発用途の装置開発 △
- 食品業界向け
高速流動層造粒装置の拡販 △

※ ○:成果が出ている △:着手中 ×:未着手

【化成品部門】 進捗状況

- 医薬品添加剤、品質保持剤の両部門で生産設備増強。
- 添加剤はインド市場開拓、保持剤はASEAN市場開拓。

医薬品添加剤

- 機械と添加剤の両営業による顧客情報共有の仕組化 △
- コア技術を駆使した製剤技術の充実 △
- 浜松事業所内に生産設備増設 ○
- 添加剤GMPの強化 ○
- 海外添加剤 △

食品品質保持剤

- 海外営業本部と連携した海外展開 △
- 菓子業界以外の食品市場開拓 △
- 品質管理システムの導入 △
- 脱酸素剤市場へ参入 △
- コスト低減 → 生産設備の増加 △

※ ○:成果が出ている △:着手中 ×:未着手

今中間期の状況

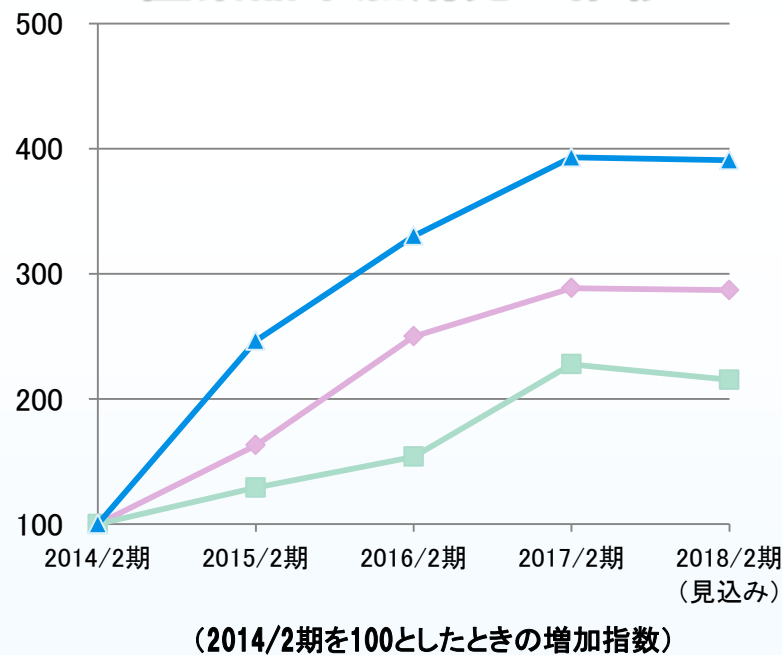
- 国内GEメーカーを中心に、設備抑制の顕著化を他分野で補いきれず。
- 医薬品添加剤は増加基調で推移。

機械受注の状況

(単位:百万円)

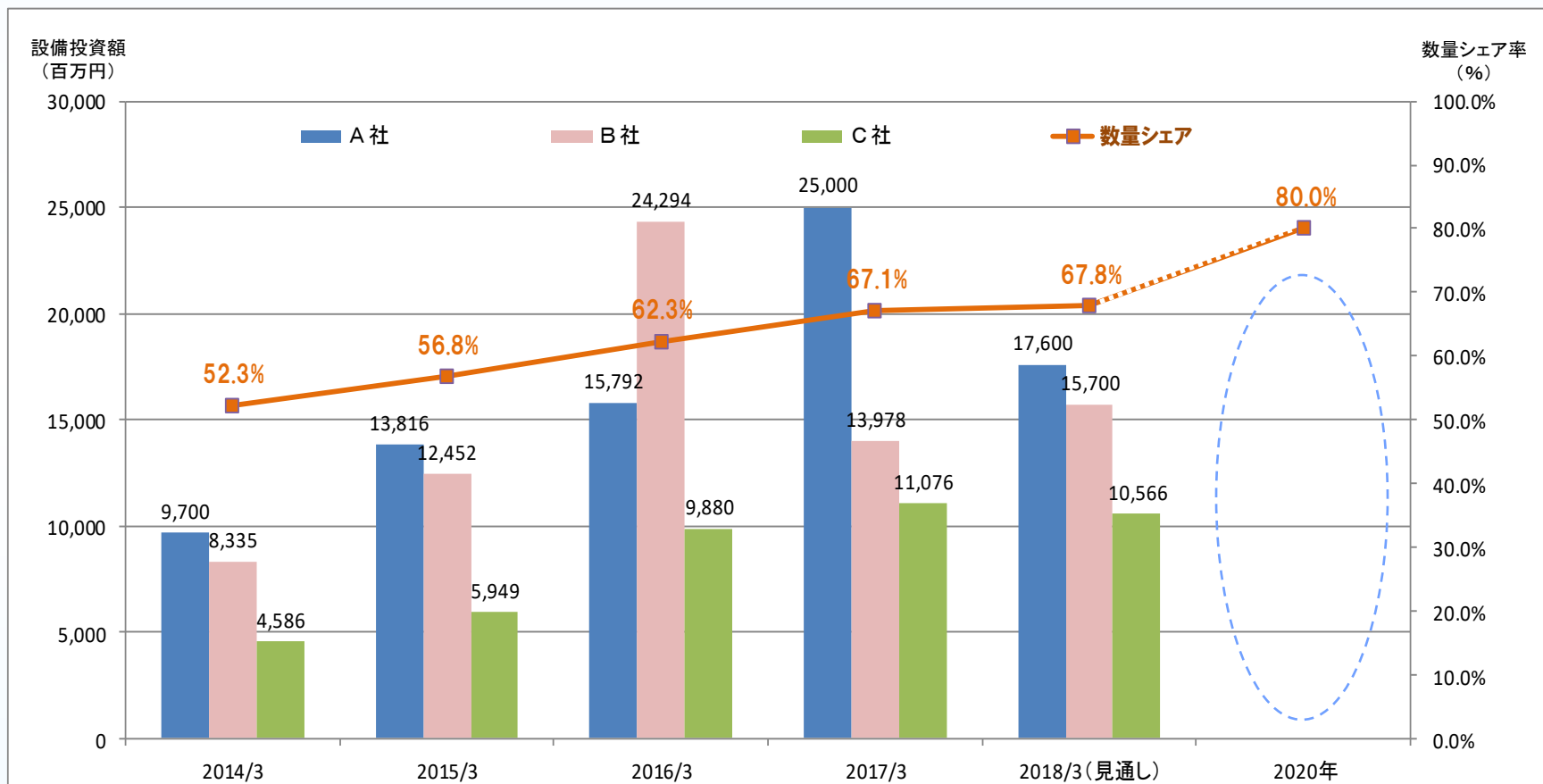
	2017/2期 上期	2018/2期 上期
受注高	8,406	5,984
医薬品関連	7,214	4,970
産業関連	1,191	1,014
受注残高	9,765	7,465
医薬品関連	8,775	6,605
産業関連	990	860

ジェネリック薬大手3社向け 医薬品添加剤売上推移



GE市場シェアと大手GEメーカー3社設備投資額の推移

- 今後の製薬会社の設備動向は分析中であるが不透明。
- 医薬品設備業界では、強い減速感。



[出所: 各社開示情報から当社調べ]

III.2018年2月期の業績・配当予想

今期業績予想

- 機械部門:国内医薬の設備投資需要の減速を新製品、産機分野でカバー。
- 化成品部門:更なる製品ミックスの改善。

(単位:百万円)

	2017/2期	2018/2期 (予想)	前年比増減	
			(百万円)	%
売上高	21,164	21,000	△164	△0.8
営業利益	2,041	2,100	+59	+2.9
経常利益	2,097	2,100	+3	+0.1
純利益	1,064	1,400	+336	+31.5
一株純利益	61.72	81.19	+19.47	+31.5
設備投資	564	-	-	-
減価償却費	338	-	-	-
研究開発費	640	-	-	-

部門別収益見通し

- 機械部門:新製品、産機分野案件の確実な取り組み。
- 化成品部門:新規食品の大型案件の縮小により減収となるが、製品ミックスの改善で増益を予想。

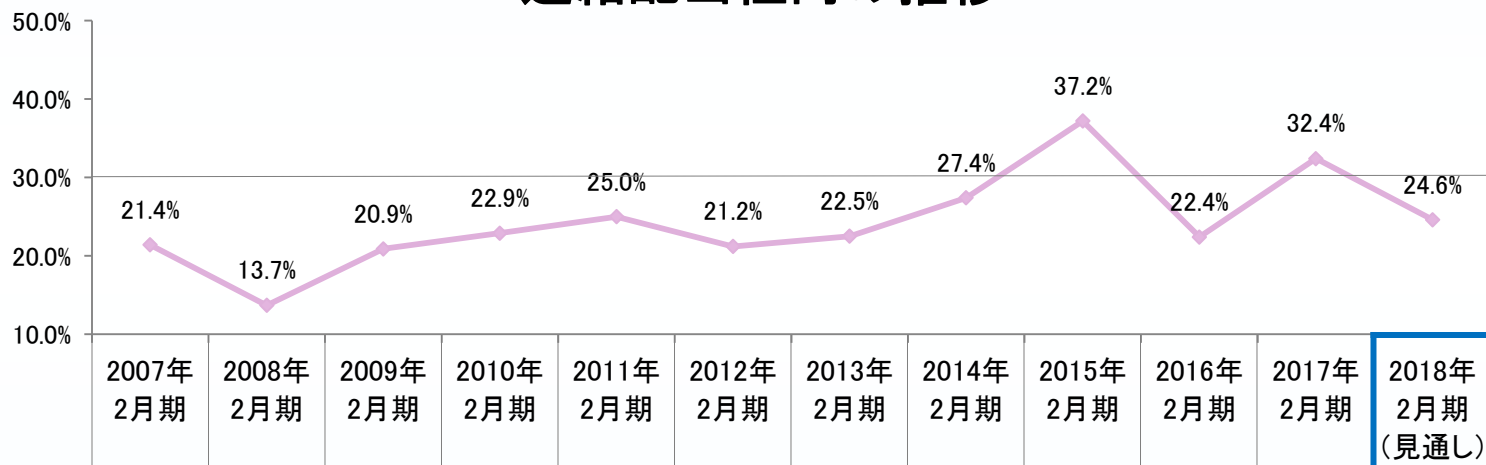
(単位:百万円)

	2017/2期		2018/2期(予想)		前年比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(百万円)	%
連結売上高	21,164	100.0	21,000	100.0	△164	△0.8
機械部門	14,914	70.5	15,410	73.4	+496	+3.3
化成品部門	6,249	29.5	5,590	26.6	△659	△10.5
セグメント利益	2,041	100.0	2,100	100.0	+59	+2.9
機械部門	1,750	85.7	NA	-	-	-
化成品部門	748	36.6	NA	-	-	-
全社、消去	△456	△22.3	NA	-	-	-
為替(円/ドル: +は円高)	109.5	-	110.0	-	-	-

配当予想

- 年間の連結配当性向目標は30%。
- 一株当たり配当金は前期記念配当5円を普通配当に代え1株あたり20円を予定。

連結配当性向の推移



当期純利益(百万円)	403	943	619	563	516	608	765	787	695	961	1,064	1,400
1株当たり配当金(円)	5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	10	12.5	15	12.5	20	20
発行済み株式総数 (千株)	4,600	4,600	4,600	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	18,400	18,400

(注) 2009年6月1日付け及び2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

IV.フロイント産業グループ 二次電池市場向け製品概要

二次電池の主部材製造装置に対応

● 正極材と負極材の製造装置を供給

・粉砕技術

電気的高活性の材料を所定の粒度分布の微(ナノ)粉体に粉砕する ... V-Turbo, A-Turbo

・コーティング技術

正・負極材料にコーティングを行い表面の改質を行う ... Airborne Coating System

・粉体圧密調整技術

正・負極材料に圧力を加え密度を上げる ... ローラーコンパクター



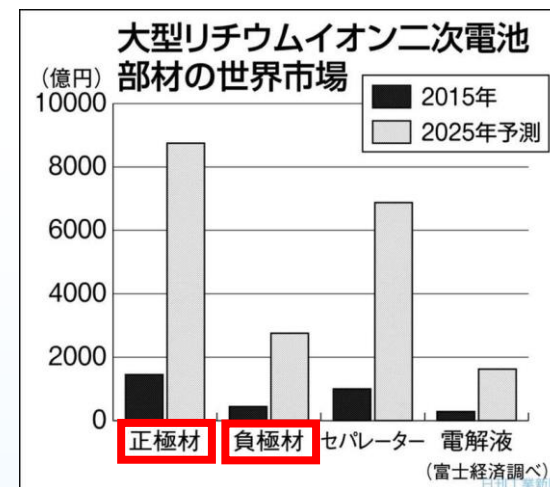
ローラーコンパクター



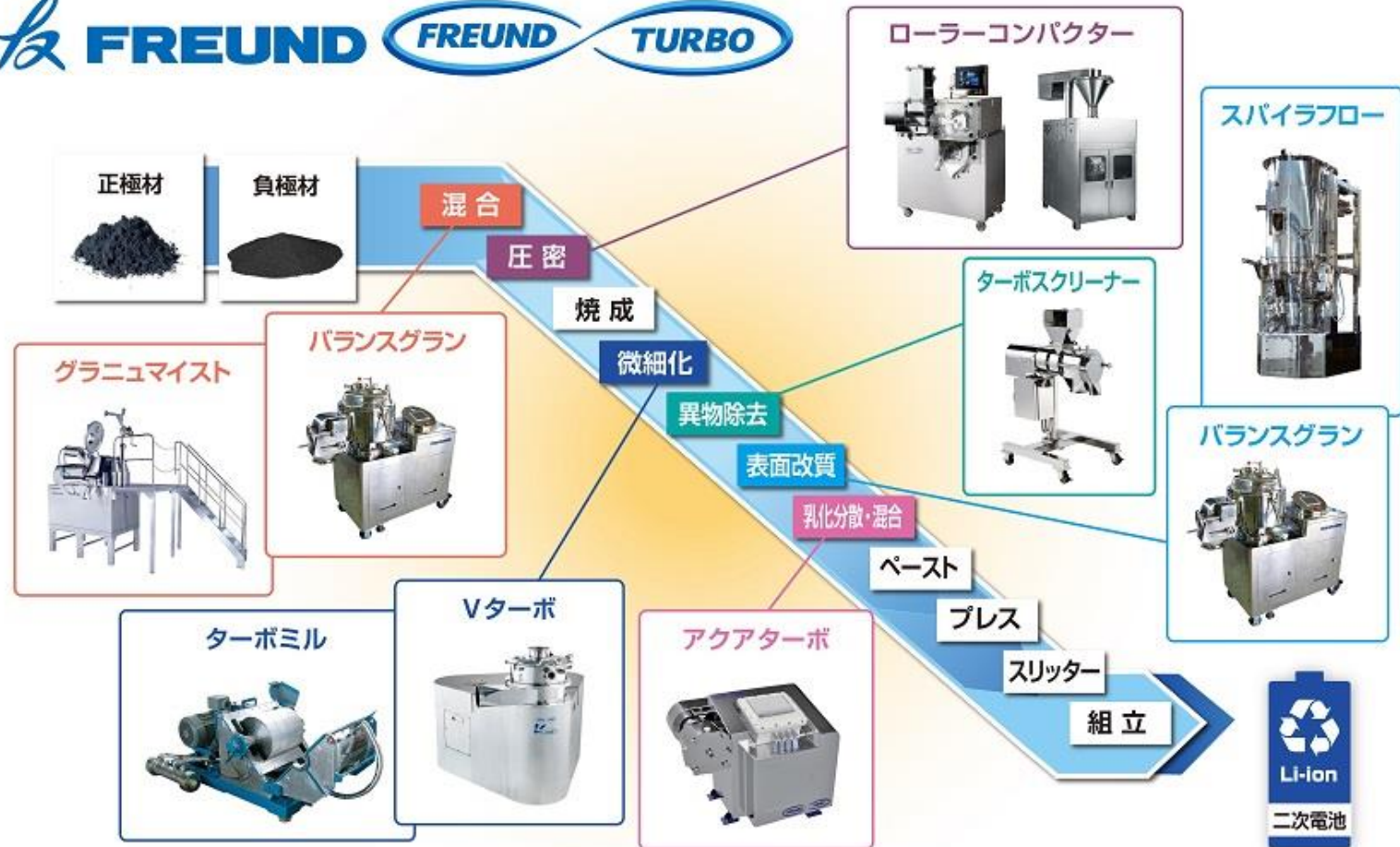
バランスگران



V-ターボ



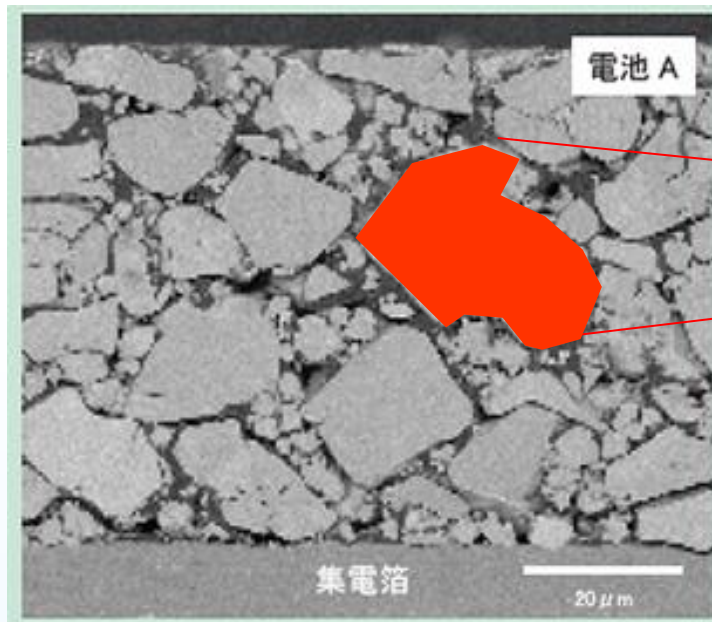
Lithium-ion Battery



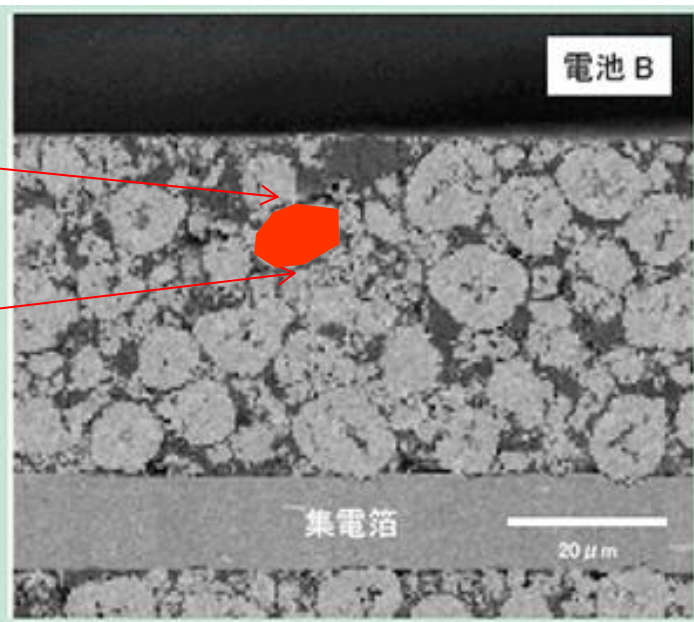
微細化は有効な高容量化への手段

- 粉碎技術において優れたフロイントグループの装置が高機能化の手段として用いられる

従来型電池



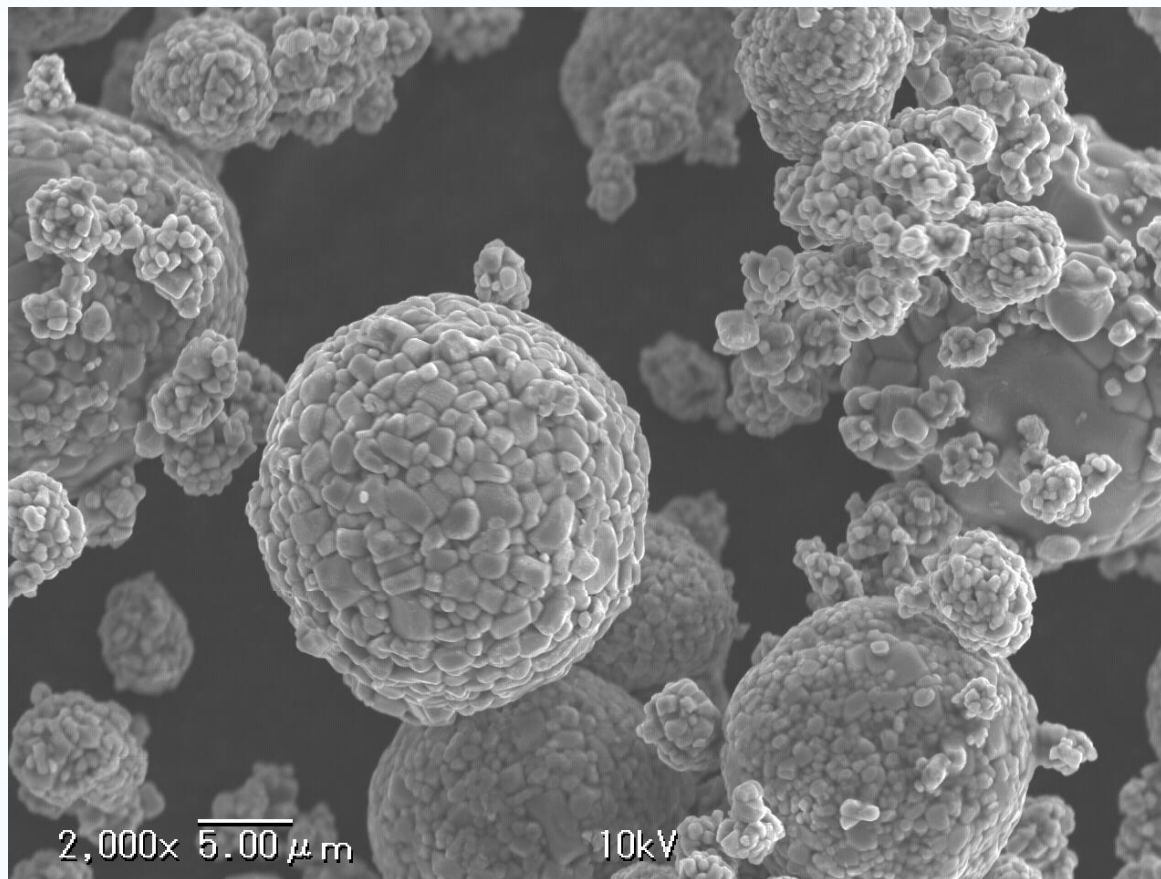
高容量電池



正極材：コーティング例

NCM[※] coated particle

医薬に比べ、より小さい粒子へのコーティング（～10nm）



※ N:ニッケル C:コバルト M:マンガン

● 山形大学

xEV(電気自動車)飯豊(いいで)開発研究センター

日本最新のEV(電気自動車)向け次世代バッテリー開発の拠点



EV(電気自動車)向け次世代バッテリー開発



次世代全個体二次電池試作設備

フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的に行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム(Timely Disclosure network、以下「TDnet」という)を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

IR活動の方針

当社は、2017年3月27日に取締役会で決定された以下の方針に基づきIR活動を実施しています。

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

IR担当部署のコーポレート・コミュニケーション部が担い、社長が統括します。また、IR管掌取締役が社長を補佐します。株主の皆様との対話を促進するため、社内に関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイトに公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<http://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

(参考資料)

- プロフィール
- セグメント情報
- 四半期業績推移

プロフィール

- **社名** : フロイント産業株式会社
- **設立** : 1964年4月
- **代表者** : 代表取締役社長 伏島 巖
- **所在地** : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
- **資本金** : 10億3,560万円 (2017年2月末現在)
- **売上高** : 211.6億円 (2017年2月期:連結)
- **従業員数** : 390名 (2017年2月末現在:連結)
- **事業内容** : 機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業・・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
- **関連会社** : FREUND-VECTOR CORPORATION
フロイント・ターボ株式会社

当社グループ各社とR&D拠点

フロイント産業
株式会社



技術開発研究所
(静岡県浜松市)



マリオン・ラボ
(アメリカ/アイオワ州)

独創的技術での
グローバル化を
積極的に推進

フロイント・ターボ
株式会社



神奈川県横須賀市

FREUND-VECTOR
CORPORATION



アメリカ/アイオワ州



ミラノ・ラボ
(イタリア/ミラノ)

国内ユーザー

機械装置／化成品の販売

機械装置／
化成品の販売

海外ユーザー

ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門 (Pen)

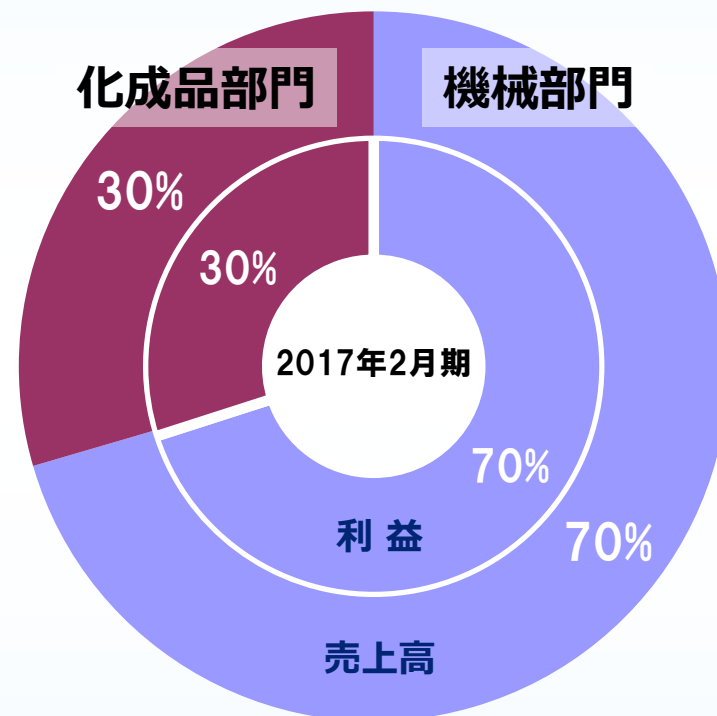
- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売。
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する。
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力。

2. 化成品部門 (Ink)

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化。

※1 GMP : Good manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成



連結売上高 211.6億円
連結営業利益 20.4億円

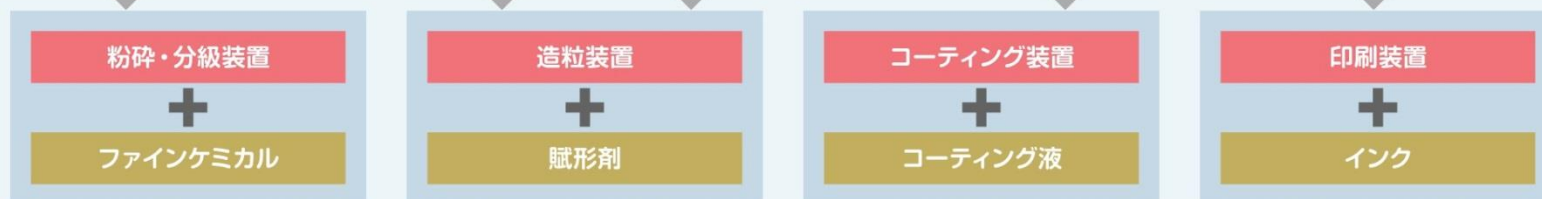
グループのビジネスフィールド

医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



機械部門と化成品部門をコアコンピタンスにユニークな製品を供給



国内	フロイント産業 フロイント・ターボ	フロイント産業	フロイント産業	フロイント産業
海外	(フロイント・ターボ)	フロイント産業 FREUND-VECTOR	フロイント産業 FREUND-VECTOR	フロイント産業 FREUND-VECTOR

非医薬品分野事業
の拡充

グローバル事業
の強化

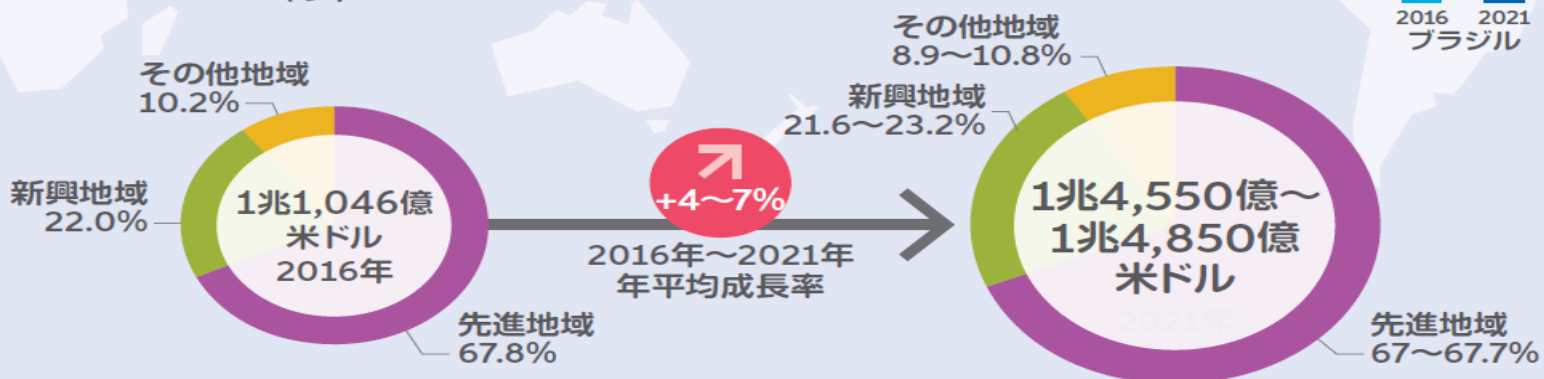
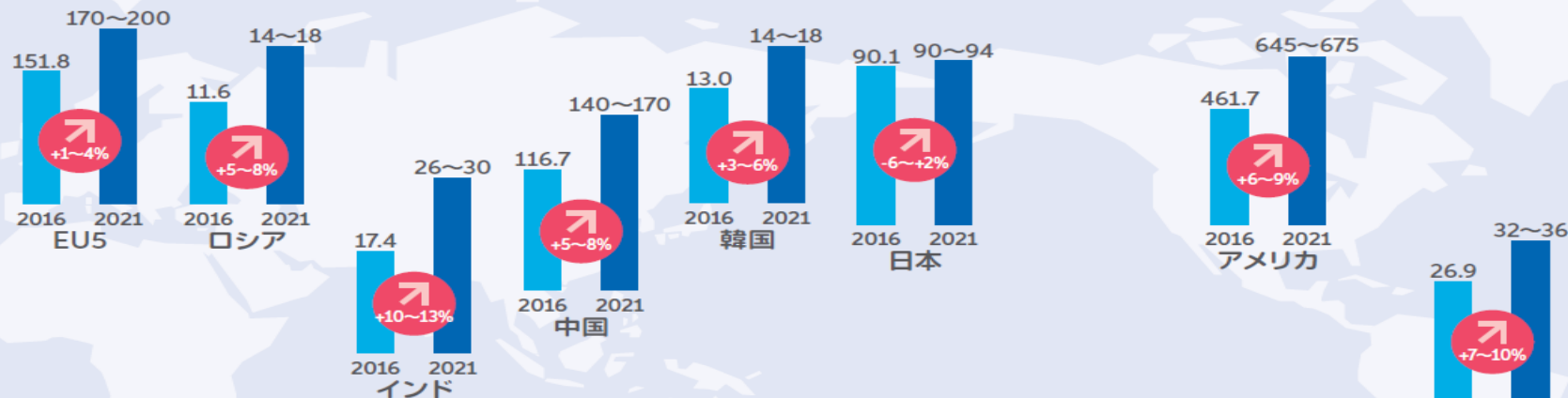
新規領域
への参入

世界の医薬品支出(2016年~2021年)

世界医薬品市場は途上国が急拡大

地域別・主要国の医薬品支出

(単位:10億米ドル)



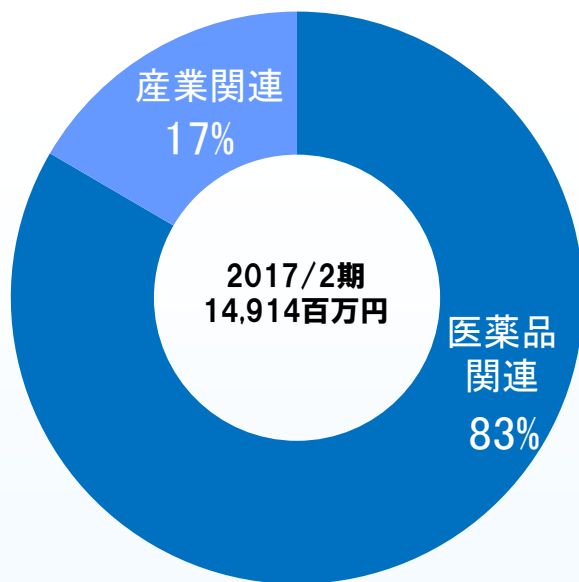
出所: IMS Market Prognosis, October 2016

注: 1. US\$建て支出は変動為替レートにより計算
 2. US\$建て年平均成長率(CAGR)は、恒常為替レートにより計算
 3. 欧州5か国は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国

【機械部門】 医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

- 機械部門は、医薬品向け業界が83%、産業機械向けが17%。
- 医薬品会社向けの造粒装置やコーティング装置が主力、錠剤印刷機受注開始
- 産機向け増加。

向け先別売上構成
(2017/2期)



連続造粒装置
(グラニューフォーマー)

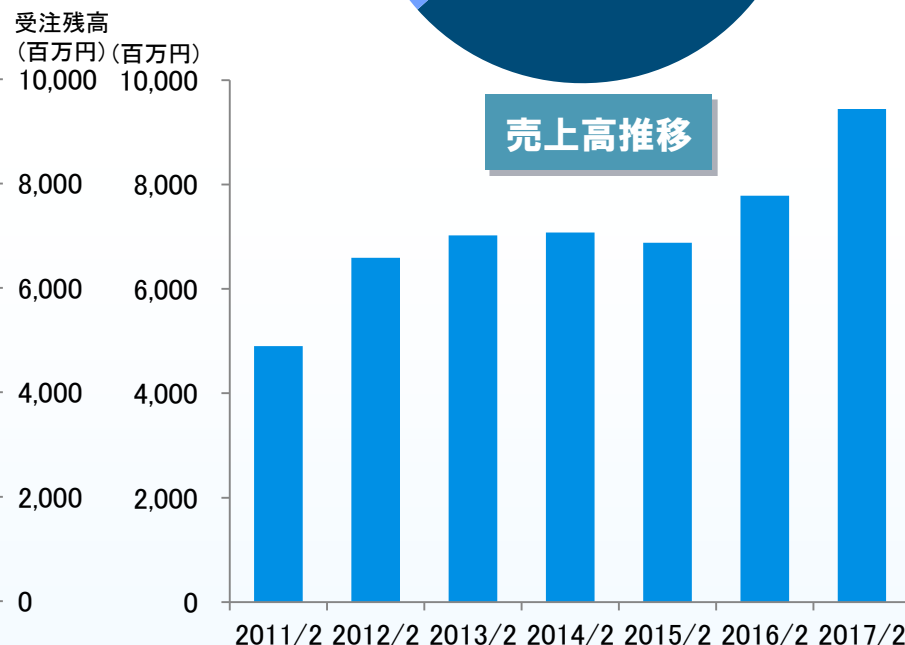
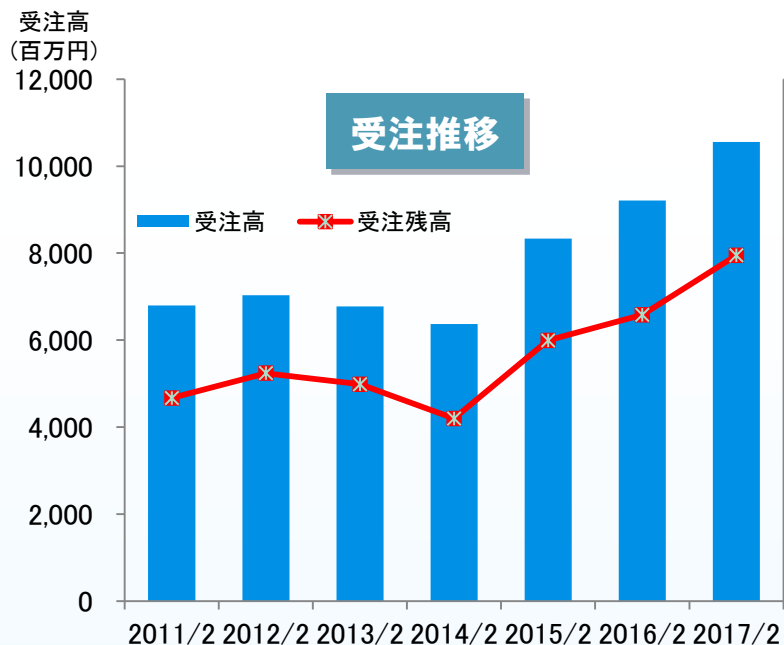
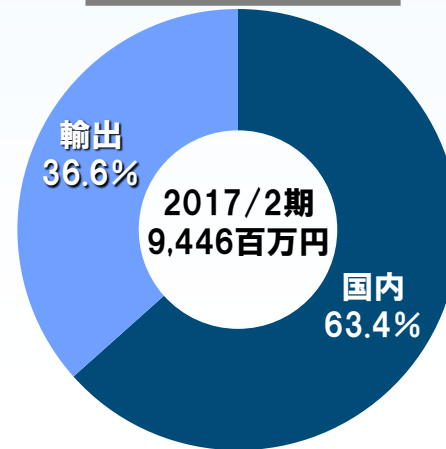
自動錠剤
コーティング装置
(ハイコーター FZ)



【機械部門】 フロイント産業の動向

- 医薬向けが牽引。
- 受注は国内、アジアとも医薬向けが好調。

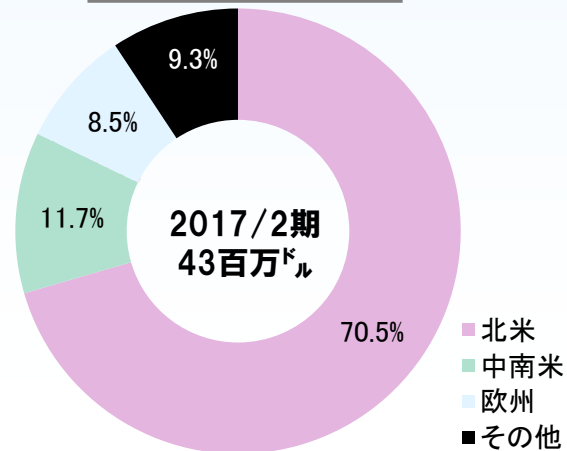
地域別売上高



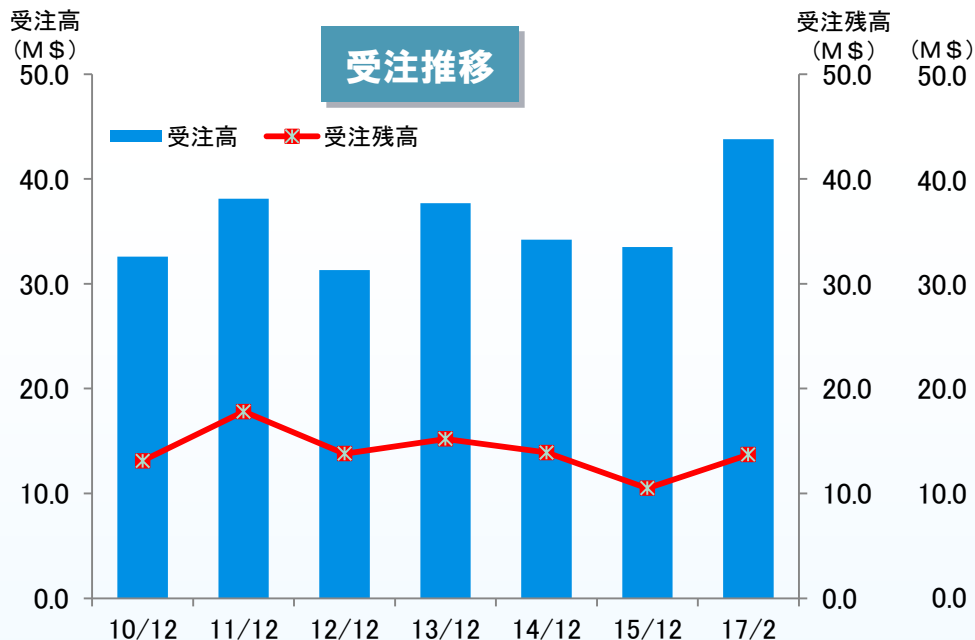
【機械部門】 FREUND-VECTOR社の動向

- 北米が堅調。
- 食品分野で大型案件。

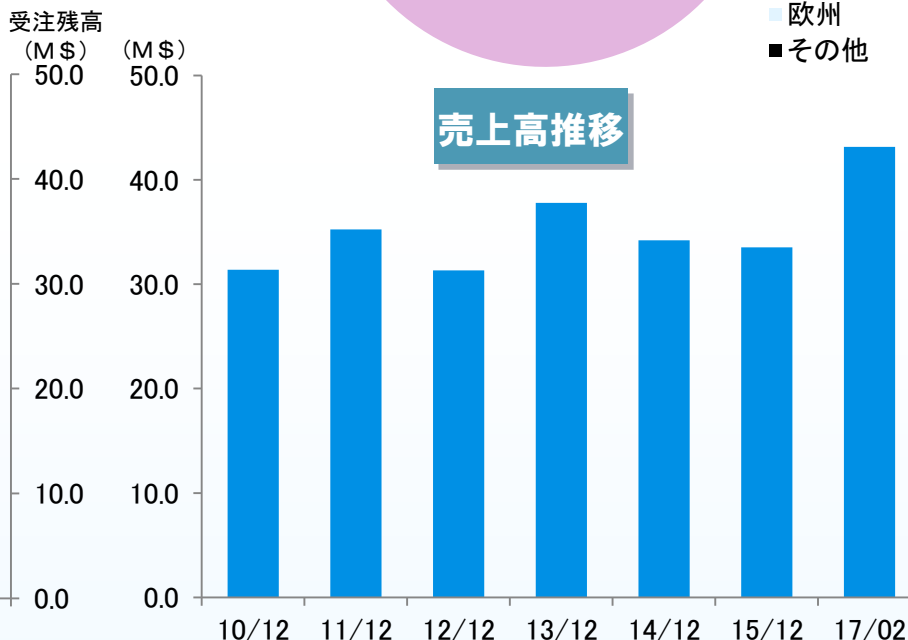
地域別売上高



受注推移



売上高推移



※2016年12月期分は、2017年2月期より決算期を毎年12月31日から毎年2月末日に変更したため、2016年1月1日から2017年2月28日までの14か月が対象。

【機械部門】 グループ資源の有効活用

生産面

海外向け仕様のハイコーター
(ハイコーターオリジナル)

製産



受注・販売
(インド他
アジア圏向けに販売)

FREUND-VECTOR

フロイント産業

開発・販売面

F : フロイント産業 F-V : FREUND-VECTOR
F・T : フロイント・ターボ

	開発	販売
ハイコーター FZ	F	F、F-V
グラニュレックス	F	F、F-V
スフェレックス	F	F、F-V
Comp 4 (制御システム)	F-V	F、F-V
フローコーター 12bar	F-V	F、F-V
ターボスクリーナー	F・T	F・T、F-V

フロイントグループの事業ポートフォリオ

※1 事業分野における「△」は、一部製品供給を行っていることを示します。
※2 内製工程における「△」は、一部製造委託を含むことを示します。

部門	事業会社	事業分野 ※1		内製工程 ※2		
		医薬品	非医薬品	開発・設計	製造	テスト
機械	フロイント産業	○	○	○	—	○
	FREUND-VECTOR	○	△	○	○	○
	フロイント・ターボ	△	○	○	○	○
化成品	フロイント産業	○ (医薬品添加剤)		○	△	○
			○ (機能的食品原料)	○	○	○
			○ (食品品質保持剤)	○	△	○

【化成品部門】ヘルスケア関連も拡大する製品群

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などの受託品が約1/3。
- GE薬向け医薬品添加剤の拡販が続く。

1. 医薬品添加剤

- ・直打用マンニトール
- ・吸着剤・固形化剤・流動化剤
- ・白色着色剤
- ・滑沢剤
- ・光沢剤



2. 食品品質保持剤

- ・食品添加剤
- ・食品品質保持剤



3. 栄養補助食品・他

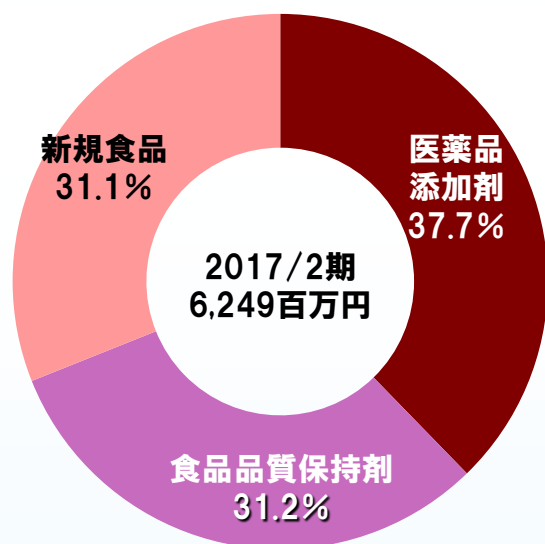
- ・シームレスミニカプセル
- ・AQshelax(水性シェラック液)
- ・サプリメント



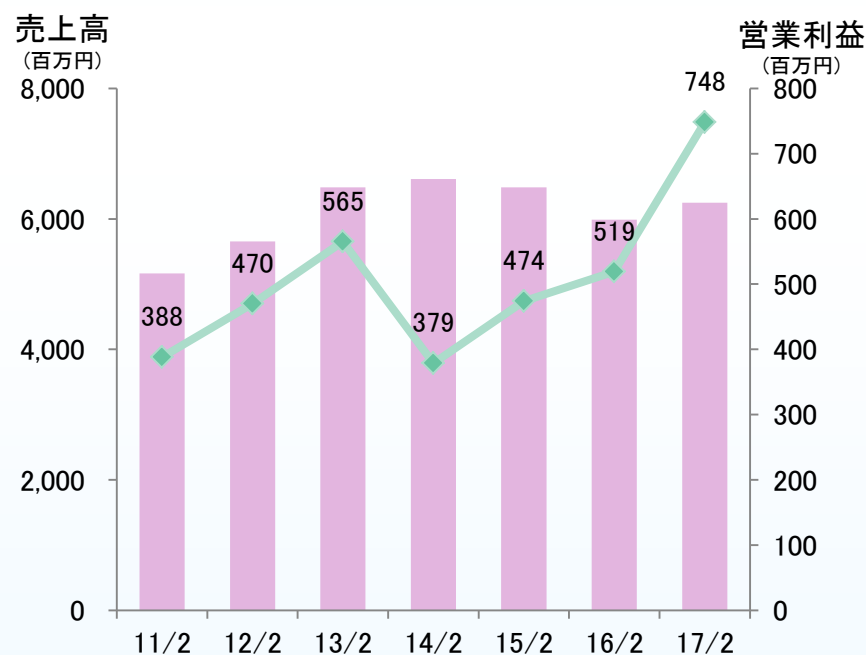
【化成品部門】 セグメント構成

- 医薬品添加剤は、GE薬メーカー向け販売好調。
- 新規食品はユーザー生産調整(増加)が予想を上回る。

化成品部門の売上構成



化成品部門売上高・営業利益推移



〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。